

働くって!?! 中学生職場体験学習

教室から社会に飛び出した中学生たち。そこで中学生が体験した、苦労や達成感、そして感謝の気持ちを紹介します。



▲崩れないように丁寧に積み上げます

を話すことで、将来やこれからの進路について考える機会となったことでしょう。この体験学習が、子どもたちにとって勤労観や職業観を広げ、地域の絆を感じる場となったと思います。

事業所のかたへのお礼

市では、学校・家庭・地域の三者が連携・協力しながら学校運営を行うコミュニティ・スクールを推進しており、地域で一緒に子どもたちを育てていきたいと考えています。

この方針のもとで行った職場体験学習では、中学生を受け入れていただき、温かくご指導いただきましたことに、心よりお礼申し上げます。

また、職場体験学習は来年度も実施しますので、ご賛同いただける事業所のかたはご連絡ください。今後とも子どもたちの成長のために、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

問い合わせ
市教育総務課企画係(津屋崎庁舎)
0940・52・4914



コミュニティ・スクール

津屋崎中学校



▲きれいになって馬も大喜び



▲リハビリの体験をしました



▲教えることの難しさがわかったかな

中学生の声

保育園・幼稚園

初日は小さな子どもたちと仲良くできなかった不安でしたが、担当してくださった先生はとても優しく、話しやすいかたですぐに慣れることができました。小さな子どもたちは、運動会の練習では走ったり、遊んだりとても元気でやんちゃだったけれど、お昼寝の時間に寝顔を見ると、とても癒されました。最終日には、一緒に遊ぶのも本を読むのも、ご飯を食べさせるのも最後まで思うと、とてもさみしく感じました。できることなら毎日遊びに行きたいです。

乗馬クラブ

仕事をやる中で大変だと思ったことは厩舎の掃除です。力が必要だし、コツをつかむのも難しく、何よりも素早くしなければいけなかったからです。とても疲れる根気の必要な作業でしたが、掃除をした後に馬が喜んでくれるので、とてもやりがいがありました。

サービス業

1番に残っていることは笑顔です。笑顔によって人のつながりができ、お客様の喜んだ顔を見ることができました。また、あいさつやマナーといった基本を一から学ぶことができて、この5日間はとても充実していました。この経験

を忘れず、これからの中学校生活、高校、大学、大人へとつなげていけるようにします。

医療・介護施設

これまで、あまり高齢者と関わりを持ったことがなく、初めはどのように接してよいか分かりませんでした。しかし、体験をしていくうちに、耳の遠い方には大きな声で話し掛けると、うまくコミュニケーションをとることができるようになりました。また、看護師の仕事だけでなく、薬剤師や栄養士、放射線技師、検査技師の見学や体験をしましたが、どれも大変な仕事だと思いました。

保護者の声

●将来の夢への現実を目の当たりにして、現場のかたがたの人間関係の大変さ、仕事の難しさなどを勉強できて、有意義な5日間を過ごせたと思います。将来の夢をもう一度見直すこともできたのではないかと思います。

●礼儀の大切さを学んだようです。まだ14歳、将来何になりたいか?という目標も決まっていないうちの子が多い時期で、この職場体験はとても意味のあるものになったことと思います。この体験を通して働くということを知ることが自分自身、自分のやりたいことを見つけることができたのではないかと思います。



コミュニティ・スクール

福間中学校



▲品出しと商品管理をしました▲



▲図書館では返却された本の整理に挑戦



▲食器の片付けは協力して

大型店舗

私は5日間のうち、2日間は食品コーナー、3日間は子ども服・肌着コーナーを担当しました。食品コーナーでは品出しや前出し(商品をお客さんが手に取りやすいように棚の奥から前に出して並べる)をしました。

初めは、商品の場所が分からず困りましたが、従業員のかたがとても親切に教えてくれました。最初から最後まで迷惑を掛けてしまったけれど、一度も嫌な顔をせずに指導してくれたことがとてもうれしかったです。

子ども服・肌着コーナーではハンガーに洋服などを掛ける作業が中心です。

中学生の声

食品販売

職場体験学習を終えてみて、普段の生活の中では味わうことのない大変さを経験することができました。「あいさつ」「返事」はもちろんのこと、お客さんに対して失礼にならないようにするなど、学校にいるときよりも意識する必要があります。

また窓の掃除やお菓子を袋に詰めることなど、初めてのことはばかりで、新鮮な気持ちで取り組めました。職場体験で学んだことを、今後の学校生活でも生かしていけるように頑張りたいと思います。

保護者の声

●とても楽しんで行かせていただいた5日間でした。社会人になる大変さや、その仕事の中でのふとした喜びを体験できた、とても貴重な期間だったと思います。

保育園

初めの頃はとても不安だったけれど、職場のかたがたから優しく分かりやすく、何をすればいいのかを教えてくださいましたので、安心して過ごすことができました。

子どもたちとも遊んでいるうちに仲良くなれたので、「一緒に遊ぼう」と誘ってくれたり、昼食の時間に「隣に来て」と言ってくれたりしたのがうれしかったです。道具を運んだり、列が崩れないように指示をしたり、だっこやおんぶを何回もしたりするのは疲れたけれど、とても貴重な体験になりました。



コミュニティ・スクール

福間東中学校



▲お皿はピカピカに



▲お年寄りとはピアノでコミュニケーション



▲消防署ではしごを登る訓練の体験です

消防署

この体験を通して、消防士の仕事は消

保育園

私は、この5日間で、子どもたちは日々成長していくことを知りました。子どもの成長が見られることや笑顔をえられる、それが保育士のやりがいだそう、私もそのやりがいを感じることができました。また、お世話することだけではなく、毎日の様子を確認し、現状に合ったサポートをすること、そして、遊ぶことを通して、心身の発達を促すことや、友達との関わりを身に付けさせることは、とても大変だということが分かりました。

中学生の声

介護施設

老人ホームでは、お年寄りの日常生活の介助、リハビリ、健康管理などをしました。お年寄りとは触れ合えて感じたことは、一人一人に合った対応が難しいということ、障がいを抱えた人、さまざまな性格を持った人がいます。介護士のかたがたは、一人一人の気持ちを考えて、お年寄りに接して欲しいと思います。この仕事はとても大変だけれど、お年寄りに喜んでもらえるとうれしいです。とてもやりがいのある仕事だと思いました。

保護者の声

●社会に関わる体験が乏しく、日常においてその機会を親がつくることも難しいため、この取り組みに感謝しています。子どもも、親以外の大人との関わり方やつながり方を学べたようで、社会に対してとても前向きになっているようです。これも、職場のかたが温かく迎え入れてくださったおかげです。今後とも応援していきたいと思っています。

●働くということや仕事について、家族で話し合うことができ大変良かったです。無限の可能性があり、柔軟な心を持った中学生のこの時期に、5日間の長い間、貴重な体験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

●子どもたちを受け入れてくださった事業所のかたがたに感謝します。仕事をやる上で、責任や大変さを感じ、感謝の気持ちを持つようになったと思います。将来について話し、考えられる良い体験でした。ありがとうございました。

火活動だけではなく、火災の予防や、消防施設の点検などもしていることが分かりました。消防本部の人たちは、私たちが訓練の体験をしている時でも、通報があった時はとても早い対応で、常に緊張感を持って行動しているのだと思いました。朝、私たちが消防本部に出動したときも、トレーニングをしている人や消防車の整備点検をしている人がいて、24時間常に出動に備えているのだと思いました。